

どこがこの作品は、完成当時は、突然理由も示さず公開取りやめになったのだ。

夕刊文化



「戦ふ兵隊」

へき真実のためならヤラセ もあえてやるという考え方 だった。当時国民がそう教 えられていたように日本軍 は無敵では決してないとい

川喜多賞に黒沢清監督 本映画の発展や海外への紹介 などに寄与した個人・団体に 贈られる第33回川喜多賞に映 画監督の黒沢清氏が決まっ た。2012年のフランスで 賞式は27日、如水会館。



小学校から中学にかけて 野球漬けの毎日を送った。

1940年代末から50年 代のことで、革のグローブ は大変な貴重品。ボールが あたる部分だけ革を張った 布製のものが市販されてい た。小学校の職業・家庭科 の授業でも、布を切り貼り して作った記憶がある。小 学4〜5年になって革のグ ローブを買ってもらった時 は本当にうれしかった。朝 グローブをはめたバットを かつぎ、ランドセルを忘れ て登校。あわてた親が追っ かけてきた。

球チームが試合を見せに信 州にやってきた。東京まで は蒸気機関車で6時間かか ったので、選手たちは地元 の宿に1泊する。僕は旅館 と懇意にしていた父に頼ん で何度かボールを持ち込 み、選手たちにサインをし てもらった。

一番の宝物は、水原茂率 いる巨人軍のもので、4番 の川上哲治、投手の別所毅 彦、藤本英雄という豪華メ ンバー。毎日枕元に置いて 寝るほど大切にしていたの で、残っていたら間違いな く「こころの玉手箱」にし ちゃっていい。ところが中学



荒巻淳投手のファンだった

の時、野球仲間の 悪ガキに見せた ら、彼はなんと自 分のサインを書き 込んだ。頭にきた 僕はボールを捨て てしまったのだ。 さて、ここに掲 げたのは「野球少 年」の昭和25年5 月号の復刻版。毎

「野球少年」昭和25年5月号

左腕の速球 とりこに

月楽しみに購読していた雑 誌だが、この年が重要な意 味を持つ。

僕が9歳のこの年、セリ ーグとパ・リーグが分かれ、 毎日オリオンズというチー ムができた。主に阪神とノ ンプロの選手で構成されて いた。パ・リーグで勝ち上が り、セ・リーグの優勝チーム である松竹ロビンスと対 戦。最初の日本一になる。 チームを日本一に導いたの が、新人王を獲得した投手 の荒巻淳。自分と同じ左利 きで、小柄な体を送り出す 速球のとりこになった。

中3の途中で上京し、都 立日比谷高校に入った。日 比谷の野球部では主将も務 めたが、東京都のリーグ戦 で1回勝つのが精いっぱい の弱小チーム。僕の選手時 代はここで終わる。 毎日オリオンズはその後 合併などを経て、現在の千 葉ロッテとなった。僕は今 もかなり熱烈なロッテのフ ァンで、1年に2、3度、 千葉の球場に足を運ぶのを 楽しみにしている。

醤油味見どころ「福萬醤油」



かつて天神3丁目には「萬町」とい、埋め立て地で豊富な水や良質な塩の恩恵を受け醸造街として発展したそう。全国約1500社の醤油蔵のうち福岡県には約110社あり全国一多く残るといわれるのも、こうした名残だろう。店主の大浜大地さんはオリブオイルの輸入でスペインを訪れ、旅先で食べたエビのグリルからたちこめる醤油の香りに驚いたという。「醤油は香りのスパイスだ！」と魅

ずらり200種 相性試す

了され、醤油テイastingゲ ーをオープン。醤油ソムリ エとしても活動している。 バーカウンターで九州の醬 油を始め200種類以上を試 すことができ、大浜さんのお 勧めも楽しみの一つだ。人気 のランチは「鰯茶漬揚げ膳」(980円)。玄海産真鰯は福萬 醤油秘伝の漬けだれで、その まま食べても美味しく、お茶 漬けでもあっさりとお食がす ずむ。ご飯をおかわりして卵か け、飯を食べる客も多いそう で、鰯だしたっぷりの専用醬 油がやみつきになる。

九州の醤油は全域で甘く、 南ほどその傾向は強くなる。 「甘みは体を冷やすので、温 暖な気候に合っているのだと 思う。新鮮な食材が手に入り やすい九州では、さらっとし た生醤油よりも、相性がいい のは甘く濃厚なついたもの かもしれないですね」と。

九州各地で好みの醤油が残 るように、自分好みのものが あってもいいと語る大浜さ さん。マイ醤油を見つけてみて はいかが？(千葉 いずみ)

「ふくまんしゅうゆ」福岡 市中央区天神3の6の9番0

92・737・8920

それだけ言って、 言葉に腹が立ったが なりそうなので、黙 った。

すると、DSに沿 なく顔を上げた。

「お姉ちゃん。チ ュ 不意打ちだったの だ、あ、マジ？ ほん

「馬鹿！」

沙良は、立ち上が ばかりとやった。部 間が抜けて感じられ

「痛いー！」

宇宙は、頭を押し

「だって、ほんまの 顔、真っ赤やもん」

「そんなことない！ 目がおかしいんと違

言い返しなから、

「お父さん、まだ帰 照れ隠しに、有紀 遅くなるって。… 有紀子は、本から